

キャラクター名  
エリオ・クォーツェン

プレイヤー名

種族	manaフレア	種族特徴	溢れるmana、manaの手		
生まれ	密偵	性別	男	年齢	16
冒険者Lv	14	経歴	才能を絶賛されたことがある		
経験点	2780		体のどこかに刺青がある 引きこもっていたことがある		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	9	11		29 + 2	5
体	6	敏捷度	9	21		39 + 1	6
		筋力	15	9		30	5
		生命力	6	5	3	20	3
心	3	知力	11	2		16	2
		精神力	12	5		20	3

技能	Lv.	技能	Lv.
フェンサー	14		
スカウト	13		
レンジャー	7		
セージ	1		
エンハンサー	10		
アルケミスト	5		

戦闘特技			
トレジャーハント	2120p	変幻自在	1-282p
ファストアクション	2123p	両手利き	1-283p
影走り	2120p	二刀流	1-281p
トレジャーマスター	3143p	双撃	1-280p
治癒適性	2122p	斬り返し	1-286p
不屈	2123p	武器習熟S/ソード	1-281p
挑発攻撃	1-287p	命中強化	2-230p
回避行動	1-279p	防具習熟A/非金属鎧	1-282p
牽制攻撃	1-286p		p
頑強	1-279p		p
武器習熟A/ソード	1-281p		p

言語	会話	読文
ドラゴン語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
ケルディー語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ガゼルフット	イニシアティブブースト
キャッツアイ	
マッスルベアー	
ラビットイヤー	
ケンタウロスレッグ	
ビートルスキン	
リカバリィ	
ワイドウィング	
デーモンフィンガー	
ジプロフェシー	
クリティカルレイ	
ヒールスプレー	
パークメール	
クラッシュファンク	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	14	19	20	19
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク			
鎧	プレストアーマー	筋力	回避力	防護点	
盾		10	0	5	
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				2	1
回避技能	フェンサー	合計値	23	8	

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
首切り刀:カスタム+2 カスタムで必要筋力-2 称号でさらに-5	2H	13	+1	2d+ 22	9	24	40										
ウィークネスリピーラー この武器の攻撃命中時、魔物の弱点が判明しているものとして扱う	1H	5		2d+ 21	9	23	5										
ディフェンダー 防護点+1	1H	12		2d+ 21	9	23	17										
マンゴーシュ 回避力+1	1H	8		2d+ 21	9	23	6										
ナイフ 基本的に狩り用	1H投	1		2d+ 21	9	22	1										
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	40 m	120 m

回避	防護点
2d+ 23	8

HP
75

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 3	2d+ 19

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 17	2d+ 18

MP
63

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭 決死の鉢巻き	捨て身カウンター
耳 スマルティエの聴音器	聞き耳を10手前から行える
顔 パワーナイトゴーグル	MP1で暗視を得る 18R 山賊の頭から剥ぎ取った
首 スマルティエの銀鈴	装備部位：その他を得る
背中 スマルティエのアド付ロングマント	スマルティエ化+250
右手 巧みの腕輪	
腰 多機能ブラックベルト	
足 スマルティエのアソックスリブ	転倒ペナルティを-1にする
その他アルケミーキット	

装備品	説明
ウェポンホルダー	バックラー携帯中
左手 敏捷の指輪	
スマルティエの武道帯	リカバリィに生命力B分+する
信念のリング	

—その他メモ—	自動失敗 チェック
狩人/ハンターLv.6…「」	□□□□⑤
野生児/サバイバーLv.6…「」	□□□□⑩
木こり/ランパージャック Lv.4…「」	□□□□⑮
料理人/コックLv.4…「」	□□□□⑳
漁師/フィッシャーマンLv.1…「」	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

エリオは人間の両親から生まれたmanaフレアである。(現代設定の理由)  
父に斥候と基本的な戦闘技術を教えてもらい、頃合いを見て冒険者登録を行った。  
しかし外部からの者もその時は多くおり、エリオはよく奇異の眼差しを向けられていた・・・がエリオ自身はそんなものにしない性格だった。

